

授業概要

～使える韓国語～

韓国語Ⅱでは、基本的には「韓国語Ⅰ」を履修した学生を対象とし、やさしい中級レベルの韓国語を学ぶ。韓国語を通して異文化を経験し、韓国社会についての知識や理解を一層深めることを目的とし、初級の授業で習得した基礎的知識を広げ、韓国社会において必要なコミュニケーション能力の向上を目指したいと思う。学生のレベルに合わせ、韓国関連の事項、韓国学生の大学生活、書物、ドラマ、映画、音楽など、文化に触れながら会話を中心にリスニング、読解を同時に行っていく。さらに、在学中の留学や卒業後、韓国係会社の就職を考える学生のためにも韓国語能力試験2～3級を目指したいと考えている。

授業計画

第1回	授業の進め方、評価法の概略、初級の復習	
第2回	動詞・形容詞の「ㄹ体～ます形の作り方」	
第3回	インタビューをする—「条件・仮定・意図・計画に関する表現」 *リスニング・文化体験①（30分）	
第4回	自己紹介—「期間・動作の順序の説明」	*リスニング・文化体験②（30分）
第5回	依頼・義務・許可・禁止表現	*リスニング・文化体験③（30分）
第6回	動詞の未来連体形	*リスニング・文化体験④（30分）
第7回	道案内—「位置を表す言葉・手段」	*リスニング・文化体験⑤（30分）
第8回	感想を言う—「試行・経験・状況説明」	*リスニング・文化体験⑥（30分）
第9回	贈り物—「理由・根拠・推測」	*リスニング・文化体験⑦（30分）
第10回	病気になった時—「不可能・時間表現」	*リスニング・文化体験⑧（30分）
第11回	勉強方法について—「傾向・事柄・並行動作」	*リスニング・文化体験⑨（30分）
第12回	話を伝える—「思い出・間接話法」	*リスニング・文化体験⑩（30分）
第13回	手紙・メールの書き方・インターネット検索入力	
第14回	歴史・映画①「光海君からみる朝鮮王朝について」	
第15回	歴史・映画②「朝鮮と日本との関係から見るリーダーシップとは？」・まとめ	
第16回	試験	

到達目標

1. 接続語尾の活用を自由に使い、文をつなげることができるようにする。
2. 韓国語・韓国文化を通して、他者への理解を深めコミュニケーション能力を高める。
3. 学生に韓国語スピーチ大会参加や韓国語能力試験2～3級を目指せるようにする。

履修上の注意

1. 外国語の授業なので、ペアで行う活動など授業への積極的な参加が求められる。
2. 「韓国語Ⅰ」の履修者が望ましい。
3. 履修した場合は、韓国語能力試験2～3級が受けられるレベルになる。

予習復習

1. 予習については、毎回、提示されるテキストを読んでくること。
2. 復習については、毎回、提示される課題をやってくること。

評価方法

平常点（50%—授業の参加度・小テスト・課題・会話演習・発表）、試験（50%）を予定している。

テキスト

主にプリント教材を配布する。より興味のある学生は下記のテキストを参考にすること。
*参考書—金順玉・阪堂千津子・崔栄美著『ちよこっとチャレンジ韓国語』白水社（CD付）（2,592円）